

第4章

計画－夢－の実現に向けて

上京区基本計画は、あらゆる分野を網羅的に計画の中に盛り込むというものではなく、上京区の個性を活かし、その特徴を最大限に活かした構想（プロジェクト）を提案することに重点を置き取りまとめた。

平安京以来の長い歴史の中で、20世紀の終わりに策定作業を行ったこの計画は、21世紀の上京区の礎を築くための指針となるものであり、この計画に基づき具体的な年次計画を策定して、予算の確保や計画の進行管理を的確に行うよう努めるとともに、市街電車の導入などの検討項目については、区民や広く市民とのパートナーシップによる様々な検討を行うなど、理想の上京区のまちづくりに向けて着実に実行していくこととする。

1 区民と行政のパートナーシップのまちづくり

まちづくりの共通目標を実現するためには、区民と行政の協力が不可欠である。行政の責任ある施策の推進はもとより、区民自身が日常生活や自主的な活動、事業の中で、まちづくりとのつながりを自覚し、互いの役割と立場を認識しながら、有機的な取組を進めることが大切である。

このこと、すなわち「パートナーシップのまちづくり」が、生活と産業やその他の都市活動の器である上京区を住みやすく、魅力的なものにしていく大切な条件である。

したがって、こうした視点に立ち、区民と行政の相互の立場と役割を明らかにしながら、まちづくりを進めるものとする。

（パートナーシップの仕組みづくり）

- ・ 上京区基本計画に基づく取組の進捗の評価
- ・ まちづくり情報や人材情報など、様々な情報の提供、交流
- ・ NPO等の活動支援

